

令和3年度 第1回 加古川市地域公共交通会議 議事概要

○開催概要

開催日時	令和3年7月7日（水） 午後2時から午後3時15分まで
開催場所	加古川まちづくりセンター ホール
出席者	委員18名、オブザーバー10名、事務局5名
議事次第	1 開会 出席状況報告 会議の趣旨 会長の選任 2 議事 議案第1号 加古川市地域公共交通会議公開要領の改正について 議案第2号 高砂市コミュニティバス「じょうとんバス」の再編について 議案第3号 東神吉小学校前停留所の移設及び名称変更について 議案第4号 かこバスミニ路線の停留所の新設及び移設について 議案第5号 チョイソコかこがわの本格運行について 3 その他 報告事項 加古川市域を跨ぐ路線バスの運行休止について 4 閉会 副会長あいさつ

○議事概要

■ 議案第1号 加古川市地域公共交通会議公開要領の改正について

<説明概要>

加古川市地域公共交通会議は、原則公開としているが、傍聴を希望する者は氏名や住所など所要事項を記入の上申し出る必要があった。この度、市の方針により、「個人情報の収集を必要最小限に限定すること」及び「心理的不安を排除して積極的な傍聴を促すこと」の2つの観点から傍聴者の個人情報を求めないこととされ、「加古川市地域公共交通会議公開要領」の一部改正を行う。

<意見・質疑応答>

なし

（議決）議案第1号

原案承認 ※委員18名中、18名（全員）が同意

■ 議案第2号 高砂市コミュニティバス「じょうとんバス」の再編について

<説明概要>

高砂市が実施しているコミュニティバス事業について、現行の全5系統について、運行の効率化、移動需要への対応、利便性の確保に対応すべく、新たなルートで再編を実施する。

このうち、新設する JR 宝殿駅～古新～山陽高砂駅を結ぶ米田東ルートについては、現在運行している高砂駅～宝殿駅区間の路線バスが令和3年10月より休止することに伴い、コミュニティバ

スにて運行することとし、加古川市域を一部運行するため、本会議の同意を得ようとするもの。
＜意見・質疑応答＞

なし

（議決）議案第 2 号

原案承認 ※委員 18 名中、18 名（全員）が同意

■ 議案第 3 号 東神吉小学校前停留所の移設及び名称変更について

＜説明概要＞

神姫バス路線、JR 加古川駅～東神吉小学校前において費用削減のため、東神吉小学校前停留所の転回地を明け渡し、当該停留所を移設するもの。なお、当停留所の利用は僅少であり、移設先は現行位置から半径 300m 圏内のため、旅客への影響は少ないとしている。

また、移設に伴い「東神吉小学校東」に名称変更を予定している。

＜意見・質疑応答＞

（委 員）停留所を移設した後、バスの転回はどうするのか。転回が可能であるならば、どのような基準でもって判断しているのか。

（神姫バス）現地の道路状況を見たところ、道路上を転回することによる方向転換が可能と考えている。なお、運行管理者と現地確認のうえ、実際に試走した結果特段問題ないということであった。

（委 員）運転手の休憩場所が無くなるといったことになるが、その辺りはどう考えているか。

（神姫バス）運行ダイヤであるが、長い時間の休憩をとるような設定になっておらず、朝 1 便目のバスについては回送で行くことになるため、休憩時間は必要としていない。なお、加古川駅に到着したときに、駅前の方でバスを停車させて休憩するという仕組みとしている。

（委 員）標柱を立てる個所はどこになるのか。

（神姫バス）停留所の標柱は、道路の西側の歩道側に設置することとなる。人が道路を横断することとも考えられるため、警察から十分に注意して運行するように指示いただいている。

また、運転手に対し、運行管理者から安全最優先で運行するように指示している。

（議決）議案第 3 号

原案承認 ※委員 18 名中、18 名（全員）が同意

■ 議案第 4 号 かこバスミニ路線の停留所の新設及び移設について

＜説明概要＞

（1）停留所の新設について

志方町原町内会より、利便性向上のため、志方中ルート「原停留所」と「こども療育センター前」間に新たな停留所設置の依頼があり、停留所を新設するもの。

（2）停留所の移設について

長谷川医院が新築移転したことに伴い、志方中・東ルートの「長谷川医院前停留所」を約 80 メートル南に移設するもの。

＜意見・質疑応答＞

なし

(議決) 議案第 4 号

原案承認 ※委員 18 名中、18 名（全員）が同意

■ 議案第 5 号 チョイソコかこがわの本格運行について

<説明概要>

令和 3 年 1 月 13 日（水）～令和 3 年 9 月 30 日（木）において、八幡地区で実施している
チョイソコかこがわ（デマンド型タクシー）についての実証実験の状況を報告するとともに、
10 月からの本格運行に向けて提案するもの。

<意見・質疑応答>

（委 員）チョイソコかこがわに対する予算額はどの程度か。一人あたりの負担額がどの程度であれば、市として、この事業が有益であると考えてなのか。

また、意見ではあるが、登録者数と利用者数に乖離が見られること、乗合率が低いことが課題であると思われる。

（事務局）予算としては年間約 1,500 万円の経費がかかることとなり、利用者一人あたりに換算すると 5,000 円以上の計算となる。今後、利用促進を行うとともに、コストを下げる方法は検討していくが、デマンド型の公共交通は、地域の全エリアをカバーすることができ、市北部地域において、有効であると考えている。

（委 員）デマンド型の公共交通を導入するにあたり、どのように地元と協議を行ってきたか。また、今後この地域は住民の人口が増える予想か。

（事務局）昨年秋ごろから八幡地区のすべての町内会に対し、導入にあたり説明会を実施してきた。なお、八幡地区は市街化調整区域のため、大幅に人口が増える見込みは無いと思われるが、高齢化率が高くなっている地域であり、移動手段の確保については市としても重要であると考えてる中で、利用していただける仕掛けが必要と考えている。

（委 員）3 月から 5 月にかけて、利用者数は増えていないにもかかわらず、乗合率が上昇している要因は何か。

（事務局）買い物、通院等による午前中の利用が多くなっており、そこに利用が集中していたことで乗合になることが増えたものと考えられる。

（委 員）現在は利用しない方々が大多数を占める状況において、どのように利用者数を増やしていくのか。

（事務局）利用者へのアンケートによると、「コロナ禍でなければもっと利用していた」、「友達と買い物に行きたかった」といった声もあった。利用者数、乗合率ともに低い状況であるが、地域の方々に PR し続けることが大事なことはないかと考える。また、登録状況を見ると、年齢層が上がるほど登録割合が増えていることから、登録者数が多い年齢層に絞って PR をしていくことも大事ではないかと考えている。

(議決) 議案第 5 号

原案承認 ※委員 18 名中、18 名（全員）が同意